

AKAI
professional

MPC 2000

MIDI PRODUCTION CENTER

Software Version 1.7 Addendum

ご使用になる前に、必ずこの
使用説明書をよくお読み下さい。

使用説明書

V1.7 目 次

V1.7 での追加・変更機能.....	1
サウンドのWAVファイルとしてのセーブ	1
エフェクト・サウンドの出力	1
複数サンプルのMIDIサンプルダンプ受信	2
使われていないサウンドの一括消去	2
トランスポーズの区間設定	3
STEP EDIT画面でのタイミング修正の設定変更	3
ミキサーモードでの複数チャンネルの同時選択	4
MIDIシンク信号出力	4
NOTE REPEATキーのロック	5
SMPTEスレーブ時の自走	5
JAZドライブのスリープの解除	5
STEPへのSwing%設定の反映	5

V1.7 での追加・変更機能

MPC2000 システムソフトバージョン V1.7 で次のような機能の追加、及び変更がされました。

サウンドの WAV ファイルとしてのセーブ

MPC2000のメモリー内のサウンドをWAVファイルとしてセーブすることができます。

DISKモードのSAVEページで、Type: Save a Soundを選択すると次のようなウィンドウが表示されます。



File type: フィールドでWAVを選択しSAVE [F5]キーを押すと、File: フィールドで選択されたサウンドがWAVファイルとしてディスクにセーブされます。

警告: MPC2000 のディスク・フォーマットは、コンピューター用のディスク・フォーマットとは異なります。MPC2000でフォーマットされたハード・ディスクやリムーバブル・メディアをコンピューターで使用すると、全てのパーティション・データが失われることがあります。

セーブに関するその他の詳しい内容は、本体の取扱説明書の第9章のデータのセーブをご覧ください。

エフェクト・サウンドの出力

エフェクト・サウンドをアサイナブル・ミックスにも出力できます。

ミキサーモードでFXedit [F5]キーを押してエフェクト・エディットのスクリーンを表示させ、[CURSOR]キーを使ってMIXを選択して[OPEN WINDOW]キーを押すと、次のようなエフェクト・ミキサー・ウィンドウが開きます。



Output: フィールドでエフェクト・サウンドの出力先を選択します。MASTERを選択するとエフェクト・サウンドはSTEREO OUTに出力さ

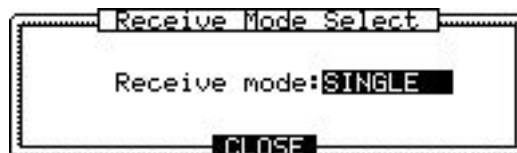
れ、1/2, 3/4, 5/6, 7/8のどれかを選択すると選択されたアサイン
ブル・ミックス・アウトに出力されます。

エフェクト設定に関する詳しい内容は、V1.3追補版の取扱説明書のエ
フェクトの章をご覧ください。

複数サンプルのMIDIサンプルダンプ受信

MIDIサンプルダンプ受信時に、複数のサンプルを連続して受信するこ
とができます。

MIDIサンプルダンプのスクリーンが表示されているときに[OPEN WINDOW]
キーを押すと、次のようなウィンドウが表示されます。



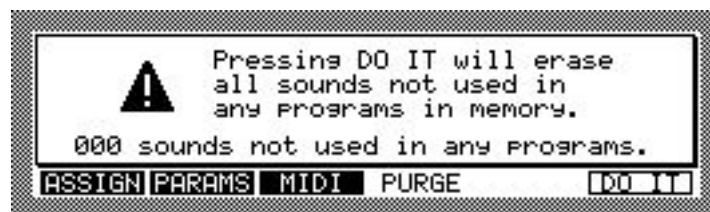
Receive mode:フィールドでサンプルダンプ受信後のウィンドウの
表示を選択します。SINGLEを選択すると一つのサンプルの受信が完
了するとKeep or Retryのウィンドウが表示されます。MULTIを選
択するとサンプルの受信が完了してもKeep or Retryのウィンドウ
を表示せずに受信待機状態になり、複数のサンプルを連続して受信で
きます。

MIDIサンプルダンプに関する詳しい内容は、V1.5追補版の取扱説明書
のMIDIサンプルダンプの章をご覧ください。

使われていないサウンドの一括消去

メモリー内のサウンドで、どのプログラムにも使われていないサウン
ドをまとめて消去することができます。

プログラムの設定スクリーンにPURGEキーが追加されました。プログ
ラムの設定スクリーンでPURGE[F4]を押すと次のようなPURGEページ
が表示されます。

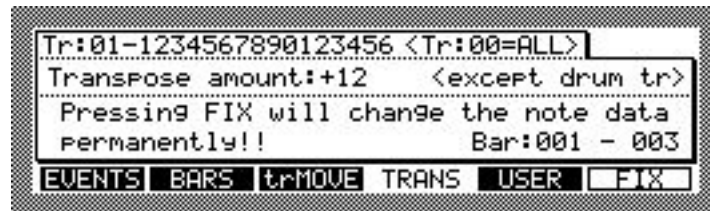


DO IT[F6]キーを押して実行すると、メモリー内のどのプログラムにも
使われていない全てのサウンドがメモリーから消去されます。

トランスポーズの区間設定

シーケンス内の指定した小節部分だけにトランスポーズがかけられます。

トランスポーズの設定ページにBar#フィールドが追加されました。トランスポーズの設定ページを開くと次のようなスクリーンが表示されます。



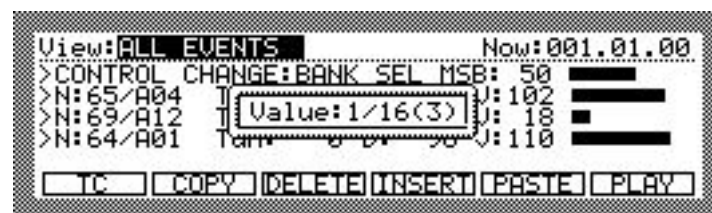
Bar#フィールドでトランスポーズをかける小節を設定します。

トランスポーズに関する詳しい内容は、本体の取扱説明書の第4章のトラックのトランスポーズをご覧ください。

STEP EDIT 画面でのタイミング修正の設定変更

STEP EDITの画面でタイミング修正(TC)の値を変えられます。

ステップ・エディット・スクリーンにTC [F1]キーが追加されました。ステップ・エディット・スクリーンでTC [F1]キーを押すと、キーが押されている間、次のようなウィンドウが表示されます。



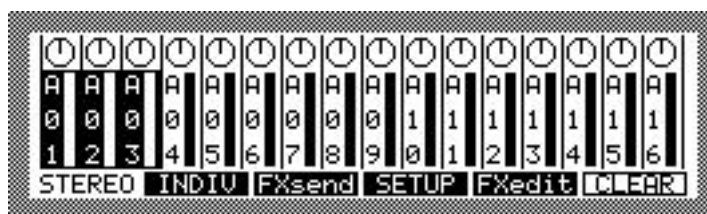
このウィンドウを表示させると、[DATA]ホイールを回してタイミング修正の設定値を変更できます。

タイミング修正に関する詳しい内容は、本体の取扱説明書の第3章のタイミング修正の設定をご覧ください。

ミキサーモードでの複数チャンネルの同時選択

ミキサーモードのSTEREO、INDIV、FXsend画面で、複数のチャンネルを選択してそれらの設定を同時に変更できます。

[SHIFT]キーを押しながらドラム・パッドを叩くと、下図のように複数のチャンネルを同時に選択できます。複数のチャンネルが選択されているときは、[SHIFT]キーが押されていないとドラム・パッドを叩いてもチャンネルの選択は変わりません。複数のチャンネルが選択されると、ALL CH[F6]キーはCLEARキーに変わります。



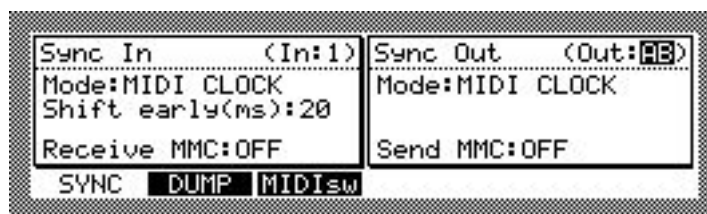
[SHIFT]キーを押しながら、すでに選択されているチャンネルのドラム・パッドを叩くと、そのチャンネルの選択が解除されます。選択されているチャンネルが一つになると[F6]キーがCLEARからALL CHに戻ります。複数のチャンネルが選択されている状態でCLEAR[F6]キーを押すと、複数選択が解除されます。

ミキサーに関する詳しい内容は、本体の取扱説明書の第7章のミキサー機能、及びV1.3追補版の取扱説明書のミキサーモードの章をご覧ください。

MIDI シンク信号出力

MIDIシンク信号がMIDI OUTのAB両方から出力できます。

MIDI/SYNCモードのスクリーンで、Sync Outの(Out:フィールド)の選択肢にABが追加されました。



Out:フィールドにABを選択すると、MIDIシンク信号がAB両方のMIDI Outから出力されます。

MIDIシンクに関する詳しい内容は、本体の取扱説明書の第10章のMIDI/SYNCモードをご覧ください。

NOTE REPEAT キーのロック

ノートリピート機能を使うとき、[NOTE REPEAT]キーを押したまま[SHIFT]キーを押すと、[NOTE REPEAT]キーがロックされ、手をはなしてもノートリピート機能が継続します。もう一度[NOTE REPEAT]キーを押すとノートリピート機能が解除されます。

SMPTE スレーブ時の自走

SMPTEスレーブ設定時は、MPC2000側で[PLAY]/[PLAY START]キーを押すと「Waiting for time code.」という表示が出てタイムコード信号の待機状態になりますが、V1.7バージョンでは、この待機状態から再度[PLAY]/[PLAY START]キーを押すと、MPC2000が外部タイムコード信号の有無にかかわらず再生を開始します。

JAZドライブのスリープの解除

サンプルをJAZドライブからロードするとき、JAZドライブのスリープを解除します。

STEP への Swing% 設定の反映

[STEP]キーを使ってロケートするとき、タイミング修正が有効に設定されているときは、ステップ値にSwing%#の設定も反映されます。